

令和7年度 ひじやま LMO 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ ICT 推進事業を通してスマホやパソコンを学ぼうとする高齢者が増えてきた。
・ 地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、運動会やしのめさんフェスティバルを開催し、新たなにぎわいづくりの場を創出することができた。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	ICT 推進事業	(5) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月22日 ~ 令和8年3月17日	
(2) 実施場所	比治山会館2階 (ひじやま LMO 拠点)	
(3) 参加者数	120 人	
(4) 主催団体	団体名 ひじやま LMO	
4 取組内容	・ 月1回(原則第3火曜日) ICT 勉強会を開催した。 ・ 開催日 : 4/22 5/20 6/17 7/15 8/19 9/16 10/21 11/18 12/16 1/13 2/10 3/17 ・ 内容 : スマホ・ネット・AI あるある 身近な IT 機器を使用した際のあるあるネタを取り入れながら身近な活用法を学んだ。 参加者が日頃使っているスマホ機能などの質問を受け付けた。 Zoom での配信を行い、自宅からも参加できる環境にて実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	ICT の知識がないことで、コミュニケーションが取りにくく孤立する高齢者が多いため、気軽に質問できる場所の提供をしたい。 地域には県外から来た一人暮らしの若者も多く住んでいるので、地域の活動に参加するきっかけにしたい。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	スマホやパソコンのことを広く勉強できる場を作ることで、高齢者や一人暮らしの方が地域の活動に携われた。 年齢を問わず参加していただくことで、お互いが教え合ったり、聞き合ったりして世代を超えたコミュニティが生まれた。 町内会の垣根を越えての交流ができ、顔見知りが増えたことで他の行事に参加しやすくなった。	

1 事業名	ひじやまデイキャンプ	(5) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月23日	
(2) 実施場所	段原山崎第二公園	
(3) 参加者数	75 人	
(4) 主催団体	団体名 ひじやま LM0・比治山学区子ども会育成協議会	
4 取組内容	地域の人、全員が参加できるデイキャンプの開催。 ・プロに教えてもらいながら、参加者が協力してテントを設営。 ・こどもたちに火起こし体験 ・調理体験、食事の準備を通して世代間の交流を促進、地域活動の活性化に繋げた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	近年、世帯数は増えているのに、町内会、子ども会に加入する世帯が少なくなっているため、会員増、人材発掘のため。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	こどもから高齢者までの参加を期待していたが、広報不足のため若年層が主のイベントとなった。しかしながら、こどもの年齢の違う家族と一緒に活動する中で、新たなコミュニティが生まれ地域の活性化につながった。	

1 事業名	比治山学区町民運動会	(5) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 10 月 19 日	
(2) 実施場所	比治山小学校グラウンド	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 ひじやま LM0・比治山学区体育協会	
4 取組内容	比治山学区 9 町内会と各団体が協力し合同の町民運動会を開催 ・比治山学区 9 町内会の対抗戦で種目別、総合で優勝を競った。 ・単一で参加できない町内は、連合チーム又はオープン参加枠を設けて参加しやすい体制とした。 ・大会前にひじやま LM0 ホームページや地域の掲示板、SNS などで広く広報した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	コロナ禍で中止となり、復活して 2 回目だった。規模をコロナ禍前に戻して、多くの町民に参加してもらいたい。また、若年層に多数参加してもらい世代を超えたコミュニケーションツールとして楽しんでもほしい。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	準備から片付けまで大がかりなので、各町内の若手の活躍の場となり、新たな参加者を増やすきっかけとなった。町内対抗のため、各町内で結束して、「次回は勝ちたい!」「もっと町内に声かけよう」という声が聞けた。	

1 事業名	比治山学区防災イベント(あそぼう！まなぼうさい！)	(5) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年2月21日	
(2) 実施場所	みみょうこども園5階ホール	
(3) 参加者数	200 人	
(4) 主催団体	団体名 ひじやま LM0・比治山学区自主防災会連合会	
4 取組内容	地域住民が主体となり防災活動を行えるよう、防災意識を高めるためのイベント ・大きなすごろくで進みながら、止まったところの防災クイズに答えていく。 ・多彩なブースを設けて、防災スリッパ作り／水消火器体験／簡易トイレの使用体験／毛布で担架体験／AED 体験などを実施した。	
5 効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・災害時に迅速かつ的確に対応できる地域づくり ・地域の連携強化（住民同士の共助の意識を高める） ・地域の防災士資格者が運営に携わることで活動を強化する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域には多くの防災士がおり、このイベントで顔を知ることによって、地域住民が災害時に安心して行動できるようになった。 各ブースを回って、身近なものでスリッパや笛を作ることを経験したり、防災用の実際のトイレ、テントを見ることができた。地域の住民同士が災害や防災について話をするきっかけになった。		

1 事業名	しのめさんフェスティバル2025	(5) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月9日	
(2) 実施場所	東雲本町公園	
(3) 参加者数	300 人	
(4) 主催団体	団体名 ひじやま LM0・東雲地区商店会	
4 取組内容	サブテーマ ～科学と夢は音楽とともに～ 科学体験をメインとし、来場者に体験してもらえる企画として科学実験や化学工作に加え、体験型を充実させるステージを企画。 学区町内会、団体、商店会会員がブースを出し、会場を盛り上げた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 こども達を中心とした地域との交流及び、地域商店と町内会、各団体の更なる活性化を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域商店には、「こども 110 番」に協力している店舗が多いため、イベントを通じて顔見知りになることが防犯に役立つ効果があった。 当日は雨で集客数は少なかったが、科学体験やサイエンスショーを見て目を輝かせているこどもたちを見ることができた。飲食店も多く出店して地域住民の憩いの場となった。		

3 自主財源で実施した事業

なし。